



第8回

ヨコハマ温暖化対策賞 受賞者紹介

横浜市では、地球温暖化対策計画書制度において優良な取組を行った事業者を表彰しています

2022年6月

横浜市環境創造局

株式会社J-オイルミルズ (製造業)



食用植物油脂製造工場において

- 老朽化したボイラーを高効率ボイラーへ更新 ⇒ 413t-CO₂ 削減
 - 効率の良い生産計画への見直し ⇒ 296t-CO₂ 削減
 - 照明設備のLED化 ⇒ 26t-CO₂ 削減
 - エアコンの更新 ⇒ 1t-CO₂ 削減
- 計736t-CO₂ 削減



横浜工場



新型ボイラー

事業者からのメッセージ

食用植物油脂の精製、加工、充填包装を行う横浜工場において、老朽化したボイラーを高効率ボイラーへ更新、照明設備LED化、空調機更新を実施しました。また、精製及び充填包装の計画について、効率良く生産できるように関係部署とこまめな調整に努めました。

2021年度は、省エネ活動を推進すると共に再生可能エネルギーの調達を開始し、さらなるCO₂排出削減に取り組んでいます。

学校法人総持学園 (教育・学習支援業)



学園の5号館において

- 空調設備の更新 ⇒ 233t-CO₂ 削減
 - 照明設備のLED化 ⇒ 11t-CO₂ 削減
- 計244t-CO₂ 削減



鶴見大学



5号館教室

事業者からのメッセージ

本学園は、鶴見大学、鶴見大学短期大学部、附属中学校・高等学校、附属三松幼稚園を擁する総合学園です。

学園全体として、室温の設定・不要な空調の停止及び照明の消灯等を定めた省エネルギーマニュアル・節電行動基本計画のもと、様々な省エネ対策に取り組んでいると共に、設備の更新を計画的に実施しています。

2020年度は、5号館の空調設備更新及び照明設備のLED化により、244トンのCO₂排出量削減を達成しました。

日清オイリオグループ株式会社 (製造業)



磯子事業場において

- ガスタービンコジェネレーションシステムの導入 ⇒ 9,207t-CO₂ 削減
 - 照明設備のLED化 ⇒ 31t-CO₂ 削減
 - 蒸気・エア使用箇所の漏れ箇所の改善 ⇒ 11t-CO₂ 削減
- 計9,248t-CO₂ 削減



コジェネレーションシステム



横浜磯子事業場

事業者からのメッセージ

当事業場では、コジェネレーションシステムなど大規模な設備導入から照明のLED化に至るまで、様々な取組を社員一丸となって進めてきました。

期近では2020年度、コジェネレーションシステムの導入と共に、国内生産拠点に構築したエネルギーネットワークの運用を開始し、大幅なCO₂排出量削減を実現しています。

これからも事業活動による環境負荷を最小限にし、脱炭素社会の実現を目指すための取組を進めてまいります。

株式会社阪急商業開発 (不動産業、物品賃貸業)

様々なテナントが入居する商業施設「モザイクモール港北」において

- 冷水、温水発生設備の更新 ⇒ 841t-CO₂ 削減
- 照明設備のLED化 ⇒ 5t-CO₂ 削減

計846t-CO₂
削減



モザイクモール港北



空調熱源設備

事業者からのメッセージ

老朽化した熱源設備を更新し、かつ空調機の間中・冬期外気取入れと間欠運転の実施、季節ごとの運転時間見直しを図りました。

上記取組により、約841トンのCO₂排出削減を達成しました。

また照明器具のLED化を図るとともに、従業員への照明「まめ消」推進による対策周知徹底により、約5トンのCO₂排出削減を達成出来ました。

今後も老朽化した設備の更新について、省エネを考慮しつつ計画的に運営を行っていきます。

ユナイテッド・アーバン投資法人 (金融業、保険業)

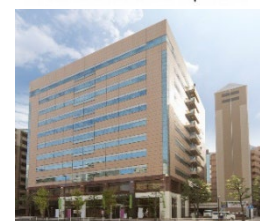
計画的なCO₂排出量削減を目指すオフィスビル等運用施設において

- 空調設備の更新 ⇒ 111t-CO₂ 削減
- 照明設備のLED化 ⇒ 61t-CO₂ 削減

計172t-CO₂
削減



ユナイテッド・アーバン投資法人
United Urban Investment Corporation



パシフィックマークス横浜イースト



アリーナタワー

事業者からのメッセージ

オフィスビル「パシフィックマークス横浜イースト」において、全館空調設備の更新及び蛍光灯照明のLED化等を実施し、他4物件と合計で172トン、約8%のCO₂排出削減を達成しました。

また、同ビルは環境認証CASBEE不動産(建築環境総合性能評価システム)でSランク★5を取得しています。

なお、当社ではサステナビリティ方針を策定し、ESG・脱炭素・環境認証取得等を積極的に推進すると共に“ESGレポート”として開示しています。

合同会社YMMインベストメント (不動産業、物品賃貸業)

経年劣化による施設のエネルギー消費設備の効率低下がみられたため、CO₂排出量削減を目的として以下の設備更新と運用改善を計画、実施。

その結果、2020年度は2017年度と比較して32%、1,386t-CO₂削減を達成。

- 設備更新 空調設備の更新、照明器具のLED化
- 運用改善 換気設備の発停改善、照明器具の間引運用、変圧器の並列運転の見直し

3年間で
32%、1,386t-CO₂
削減

事業者からのメッセージ

三菱重工横浜ビルはケネディクスグループで組成した合同会社YMMインベストメント、ケネディクス・プライベート投資法人、及び、ケネディクス・オフィス投資法人により2018年より共同運用しています。賃貸用ビルのため管理権原のある部分は共用部のみであるものの、経年劣化による効率低下がみられる設備について、CO₂削減率、投資効率等を測定の上、計画的な更新を行っています。また、テナントともリレーションを取ることで利便性・快適性を損ねることなく運用面での改善を図っています。次年度以降も新たな削減計画を策定し、引き続き温室効果ガスの削減を推進していきます。



三菱重工横浜ビル



[お問合せ先]

横浜市 環境創造局 環境管理課 計画書制度担当

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50-10

電話 : 045-671-4103

ファックス : 045-663-5656

電子メール : ks-keikakusho@city.yokohama.jp

[制度に関するホームページ]

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/ondanka/keikakusho/>